

# 第4回 スクラッチ選手権

## ～ JGMサラブレッドゴルフクラブ ～

- (開催日) 予選 5月27日(日) 18HSP オークス使用  
 決勝 6月3日(日) 18HSP ダービー使用
- (ゴルフ規則) 日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
- (順位決定) 予選において上位16位タイまでを予選通過とし決勝戦を行う。  
 順位決定は予選・決勝36ホールのトータルグロスとする。  
 ※天候により競技続行不可能な場合  
 予選においては前半の9ホールをもって競技成立とする場合がある。  
 決勝においては予選スコアと決勝の前半9ホールまでのトータルスコアで競技成立とする場合がある。
- (タイ決定) 優勝者がタイの場合、クラブの指定するホールにおいてホールバイホールのプレーオフを行い優勝者を決定する。  
 それ以外の場合、決勝のマッチング・スコアカード方式 (NO.10～NO.18) で決定する。
- (入賞) 予選通過をもって入賞とする。
- (参加費) ¥3,000円(税込)
- (使用ティー) 競技用ティー(黒)

### 《注意事項》

- ※スタート時間30分前までに受付を済ませスタート15分前にティーインググラウンドで待機すること。
- ※スタートのティーアップ順は、組合せ表のとおりとする。
- ※選手の欠場により組合せを変更する場合がありますので、予めご了承ください。

### 《組合表》

時間	PLAYER	PLAYER	PLAYER	PLAYER
6:57	山野 俊一	八木田裕一	山下 伊作	石山 仁一
7:04	遠藤 隆	青木 仁三	園部 智浩	増田 健治
7:11	櫛田 章雄	関 守	根本 光	菅原 譲
7:18	奥山 一博	笹川 久夫	鎌野 久男	尾形 彰宏
7:25	瀬尾 秀之	猪狩 宗久	西川 賢太	大谷 茂
7:32	根本 孝一	荒川 秀則	白坂 賢	遠藤 大輔
7:39	菊池 新平	遠藤 終光	武内 裕美	西内 正一

## 《ローカルルール》

1. アウトオブバウンズ（OB）の境界は白杭をもって標示する。修理地は青杭、又は白線で標示する。
2. コース内の池はすべてラテラルウォーターハザードとし赤杭もしくは石垣をもってその境界とする。
3. 防球ネット・特設ティー・看板類・マンホール・給排水設備は動かさない障害物とする。  
但し、バンカーの木壁はコースと不可分の構築物とし、救済はできない。
4. 指定された練習場以外での練習は禁止する。
5. スルーザグリーンに於いて球が打球の勢いで地面に食い込んでいる時は罰なしにその球を拾い上げ球を拭き、元の位置に出来るだけ近かつホールに近づかない箇所にドロップする事ができる。
6. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は全幅をもってカート路とみなす。球がこのカート道路に止まっている場合は規則に基づく救済を受けなければならない。違反の場合は競技失格とする。
7. 打球が共用カートに当たった場合は無罰とし球の止まった所から打つものとする。又、止まっている球がカートによって動かされた場合も罰は無く、その球は元の位置にできるだけ近い所にリプレースしなければならない。
8. 目的外のパッティンググリーン（カラー部分を含む）上に球がある場合、又スタンスや意図するスイング区域がかかる場合、プレーヤーは罰なしに球を拾い上げ、ホールに近づかず、これを避けうる最も近い地点から1クラブレンジ以内にドロップしなければならない。  
違反の場合は2打罰とし、その球はあるがままの状態プレーしなければならない。
9. 競技中においてホールアウトしたグリーン・ホールとホールの間における練習は禁止する。  
違反の場合2打罰とする。但し、昼食休憩時の指定練習場での練習は出来るものとする。
10. オークスコースにおいて球が1番・10番（残り150y地点の左サイドの池）・12番・18番（左サイドの池）のラテラルウォーターハザード内にある事が分かっているか、ほぼ確実な場合、プレーヤーは次の処置の何れかをとることができる。
  - (i) 規則26に基づく処置。
  - (ii) 追加の選択肢として1打の罰のもとに球をドロップ区域にドロップ。  
ドロップ区域は、黄色の特設ティーを結び、後方2クラブレンジ以内の区域とする。  
このローカルルールの違反は2打とする。  
注：ドロップ区域を使用する場合、球のドロップまたは再ドロップに関しては次の規定が適用となる。
    - (a) プレーヤーは球をドロップする際にドロップ区域内に立つ必要はない。
    - (b) ドロップされた球はドロップ区域内のコース上の箇所に最初に落ちなければならない。
    - (c) ドロップ区域が線で定められている場合、その線はドロップ区域内である。
    - (d) ドロップされた球はドロップ区域内に止まる必要はない。
    - (e) ドロップされた球が規則20-2c(i-vi)に規定されている場所に転がり込んで止まった場合、再ドロップしなければならない。
    - (f) ドロップされた球はその球がコース上に最初に落ちた所から2クラブレンジ以内に止まり、(e)で規定される所に止まらなければ、ホールに近づいて転がってもよい。
    - (g) (e)と(f)の規定の基で、ドロップされた球は次の場所よりもホールに近づいて転がり込んで止まってもよい。
      - 初めの位置または推定された位置(規則20-2b参照)；
      - 救済のニヤレストポイントまたは最大限の救済を受ける地点(規則24-2、規則25-1または規則25-3)；
      - 初めの球がウォーターハザードまたはラテラル・ウォーターハザードの限界を最後に横切った地点(規則26-1)
11. 黄黒縞杭は一切使用不可とする。
12. 距離測定器の使用は認めない。
13. グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。

## 《注意事項》

- ①プレー中、悪天候により競技を中断・中止する場合、競技員が判断しプレーヤーに伝えます。また途中で中止する場合、前半の9ホールをもって競技成立とする場合がある。
- ②ミドルホールにおいて先行組と1ホール空いた場合、警告します。  
警告を受けた場合、先行組と空いてしまった理由がある場合は、競技委員又は代行者に、その説明をして下さい。警告後改善が見られない場合、ペナルティを課します。プレー進行を良くするためグリーン上では乗用カートを停止位置まで進めてパッティングしましょう。
- ③リモコンを持つ方はキャディではありません。負担が掛からないよう、協力し合ってプレーして下さい。
- ④処置について疑問がある場合、2つの球をプレーする事及びどちらの球をカウントするかをマーカーか同伴競技者に知らせスコアカードを提出する前にその事実を競技委員に報告しなければならない。  
上記の処置をしなかった場合は競技失格とする。